



奈良県感染症情報

令和元年 第48週(11月25日～12月1日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

インフルエンザの流行が始まっています

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.12	(5.12)	↑	↗	↑	↘
2	インフルエンザ	2.04	(1.42)	↑↑	↑↑	↑	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	1.85	(1.74)	↗	→	↗	↑↑
4	RSウイルス感染症	1.06	(0.32)	→	↘	→	↑↑
5	伝染性紅斑	0.88	(1.18)	→	→	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎の報告数が増加しています。冬期に流行するノロウイルスに感染すると、症状回復後も一ヶ月ほど、便中にウイルスが排泄され続けます。トイレの後、調理前、おむつの交換後などにはこまめに手洗いを行いましょう。また、高齢者が感染すると、嘔吐物が喉に詰まり、窒息してしまうこともあるため、注意が必要です。

インフルエンザの報告数が増加しており、今後も増加を続けることが予想されます。日頃からマスク・手洗い等の感染予防、咳エチケットによる感染拡大防止を心がけるようにしましょう。また、急な38度以上の発熱、咳や喉の痛み、全身の倦怠感を伴うなど、インフルエンザが疑われる症状が出たときは、早めに医療機関を受診するようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

気温の低下でインフルエンザが先週からでてきています。今週は倍増しました。全てA型で、咳、鼻汁、高熱は例年通りです。嘔吐、腹痛、下痢の感染性胃腸炎はやや増加しました。RSウイルス感染症も引き続き幼児で見られます。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが増加してきた。すべてA型。

咳嗽少なく発熱は短期で重症の印象はない。

感染性腸炎が流行、水様便も多いがロタ陰性、ノロ様もあるが確認例はない。

RS様感染も流行持続、マイコプラズマ肺炎も見られた。

A群溶血性連鎖球菌、水痘、ヘルパンギーナ様咽頭所見例もあった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

A型インフルエンザの流行は続いているが、大流行にはなっていない。RSウイルス感染症の流行も続いている。

嘔吐中心の胃腸炎が増加、ノロウイルスも検出されている。また、手足口病が再び増えてきているが、症状は軽い。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 1 年 第 48 週 11 月 25 日 ~ 1 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	11	10	2	4		
インフルエンザ	112 (2.04)	55 (3.93)	13 (0.93)	8 (0.73)	31 (3.10)		5 (1.25)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症	36 (1.06)	5 (0.56)	5 (0.56)	18 (2.57)	5 (0.83)		3 (1.50)	
咽頭結膜熱	9 (0.26)			2 (0.29)	6 (1.00)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	63 (1.85)	8 (0.89)	10 (1.11)	19 (2.71)	23 (3.83)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	242 (7.12)	47 (5.22)	42 (4.67)	47 (6.71)	103 (17.17)		3 (1.50)	
水痘	5 (0.15)	1 (0.11)	2 (0.22)	1 (0.14)			1 (0.50)	
手足口病	17 (0.50)	7 (0.78)	1 (0.11)	1 (0.14)	6 (1.00)		2 (1.00)	
伝染性紅斑	30 (0.88)	8 (0.89)	11 (1.22)	5 (0.71)	6 (1.00)			
突発性発しん	12 (0.35)	3 (0.33)	2 (0.22)	3 (0.43)	4 (0.67)			
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.11)					
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.11)						
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	2 (0.20)	1 (0.33)		1 (0.50)				
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	2 (0.33)		1 (0.50)		1 (1.00)			
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(中和4、郡山2)
3類感染症	
4類感染症	チクングニア熱1件(中和1)
5類感染症	ウイルス性肝炎1件(吉野1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(奈良市1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第48週のトピックス ❖

◆海外における麻しん(はしか)・風しんに関する注意喚起
(外務省海外安全ホームページ)

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2019C132.html

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男			3	3	1	1	2	2	6	6	4	10	4	1	3	2		1			49	5843	
	女		1	2	2	6	2	2	9	2	6	6	9	2	2	2	3			4		63	6062	
RSウイルス感染症	男	2	2	9	2	1	1	1														18	1017	
	女	4	2	4	5	1		2														18	896	
咽頭結膜熱	男		1	1	1		1	1	2													5	439	
	女		1																			4	307	
A群溶連菌咽頭炎	男			2		5	3	12	4	2	2	2	6	1								39	1535	
	女			1		3		2	4	5	4	4	4		1							24	1171	
感染性胃腸炎	男	2	4	22	17	17	14	8	12	10	3	4	10	1	3							127	4179	
	女		5	17	11	15	9	14	12	8	2	5	5	4	8							115	3808	
水痘	男				1			1		2												4	210	
	女												1									1	154	
手足口病	男			4		3	2															9	1721	
	女				1	1	2	3					1									8	1446	
伝染性紅斑	男				2		2	6	1	1	4		1									17	379	
	女						3	1	5	2	1	1										13	343	
突発性発しん	男		2	2	1																	5	345	
	女		1	4	1		1															7	267	
ヘルパンギーナ	男						1															1	432	
	女																						1	402
流行性耳下腺炎	男										1											1	43	
	女																						1	41
急性出血性結膜炎	男																							
	女																						1	140
流行性角結膜炎	男						1																1	133
	女																							
細菌性髄膜炎	男																					1	9	
	女																1						7	
無菌性髄膜炎	男																						1	12
	女																							9
マイコプラズマ肺炎	男				1																	1	33	
	女					1																1	36	
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						46	
	女																						35	

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

